

## 学会ニュースNo.111 トピックス

- ・2014年度(第69回)総会・研究発表大会プログラム
- ・立正地理学会研究委員会の募集(新規)
- ・秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第2報)
- ・地理学教室だより-新任のあいさつ-
- ・会員の声募集のお知らせ
- ・会費納入のお願い

## 会告

### ○2014 年度(第 69 回)総会・研究発表大会プログラム

日 時:2014 年 6 月 7 日(土)9:40 より

会 場:立正大学熊谷キャンパス アカデミックキューブ 2 階

A203 教室(発表会場)・A202 教室(会員控室)

《**口頭発表1**》 9:40~11:20 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分。\*は発表者。

A1 9:40~10:00 鈴木重雄(立正大):千葉県南部における旧町村単位での植生分布の比較

A2 10:00~10:20 小川滋之(千葉大):谷頭斜面にみられるヤエガワカンバ小林分の成因

A3 10:20~10:40 森田匡俊(立正大)\*・小池則満(愛知工業大)・小林哲郎(Pivotal ジャパン株式会社):GPS データを用いた小学生の集団津波避難行動の分析

A4 10:40~11:00 郷原裕生(立正大・院):高知市における路面電車利用者の行動分析

A5 11:00~11:20 横畠康吉(NPO 法人 AUX)\*・大塚昌利(立正大・名)・松井秀郎(立正大):徳島県吉野川市美郷地区における地域振興の展開-地区住民参加による六次産業への取り組み

《**ポスター発表紹介**》 11:20~11:30(各発表1分程度)

※掲示時間は10:00~16:00、掲示場所は学内の掲示をご覧ください。コアタイムは13:10~13:40とします。

P1 吉本 勇(就実大):ホノルル(ハワイ)の都市景観

P2 片柳 勉(立正大):地域連携による観光まちづくりへの貢献-埼玉県熊谷市妻沼地区を事例として

P3 戸田真夏(青山学院大・非):房総半島における岩石強度の分布

P4 高松亮子(立正大・院):『成田名所図会』を用いた古水文環境の復元

P5 河野 忠(立正大)\*・三上開拓・矢板 岳(立正大・学):樹根から湧出する湧水と樹種の特徴に関する研究

P6 町田尚久(立正大・外部研究員):平成26年豪雪における雪崩発生地点の特徴-埼玉県横瀬町芦ヶ久保地区周辺を事例に

P7 松尾忠直(立正大):日本におけるシイタケ栽培史の諸相

《**総会**》11:30~12:20

《昼休み》12:20～13:20

A202 教室にて、古今書院による展示・販売、ESRIによるデモ(GIS)の予定です。

《ポスター発表のコアタイム》13:20～13:50

《口頭発表2》13:50～15:30 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分。\*は発表者。

A6 13:50～14:10 岩動志乃夫(東北学院大)\*・高坂雄真(JR 東日本):仙台市中心部における古着店の立地特性—青葉区本町の事例

A7 14:10～14:30 初澤敏生(福島大):地場産業の地域的存立基盤をめぐる若干の論点整理

A8 14:30～14:50 竹澤史也(学習院高等科・非):千葉県北西部における旧軍用地転換

A9 14:50～15:10 岡田 登(立正大・外部研究員):農産物直売所における野菜出荷品目の多様化—群馬県川場村を事例に

A10 15:10～15:30 市南文一(岡山大)\*・古田祐一郎(生協おかやまコープ):岡山県南部における施設ナス経営環境とその推移

《休憩》15:30～15:40

《口頭発表3》15:40～17:00 ※口頭発表は質疑応答を含めて20分。\*は発表者。

A11 15:40～16:00 大石雅之(立正大)\*・西来邦章・古川竜太・下司信夫・及川輝樹・石塚吉浩(産業技術総合研究所):リアルタイム降灰調査に基づく桜島火山昭和火口噴火の噴出量推定

A12 16:00～16:20 大足良樹(筑波銀行)・元木理寿(常磐大)\*:日立市におけるウミウの捕獲と地域資源化に向けた取り組み

A13 16:20～16:40 船生泰寛(立正大・院):赤城山山頂火口湖「血の池」の水収支

A14 16:40～17:00 河野 忠(立正大)\*・箕輪千寛(立正大・学):秋田県大仙市に現存する水板倉の保温・保湿効果(第2報)

《懇親会》17:15～19:15 学生食堂 ステラ(1階)で行います。

《地理写真》※掲示時間は10:00～16:00、掲示場所は学内の掲示をご覧ください。

G1 稲村明彦(産業技術総合研究所):宮古市重茂姉吉の震災前・後

G2 多田統一(都立浅草高校・非):座間味の自然と人文一定時制修学旅行から

G3 岡部将大・森本 拓・松坂友貴人・田口健太(立正大・学):大沢崩れを起因とする土砂災害対策—大沢砂防施設を事例に

G4 中原和希・栗原哲也・遠藤弘士・高橋亮介(立正大・学):富士山の自然景観—御中道を中心に

G5 佐藤祐樹・和田洸太郎・山谷 領・後藤 侑(立正大・学):丹那断層と神縄・国府津—松田断層帯周辺に見られる変動地形

G6 小柴圭史・竹本大悟・門間哲司・岩田真輝(立正大・学):温泉地すべり地の対策—大涌谷を事例に

G7 山田淳一(立正大):東北地方太平洋沖地震がもたらした景観変化—被災から3年間の岩手県大船渡市の変容

G8 遠藤礼朗(立正大・学):2013年度海外福祉事情デンマーク研修

G9 神田道男(立正大・院):ミャンマー半乾燥地の村の生活

G10 猿田善之・照沼徹弥・根岸浩平・深澤 新・森 洋介・森本 拓(立正大・学):ヘルシンキの都市景観

G11 福田絵実子・門間哲司(立正大・学):フィンランド氷河地形

G12 石村真子・増田翔太(立正大・学)・島津 弘(立正大):フィンランドの食べ物

G13 石村真子・深澤 新(立正大・学)・島津 弘(立正大):フィンランド・タンペレの都市景観

G14 戸澤右門(立正大・学):フィンランドの学校

G15 植村早紀・塩野早貴(立正大・学):フィンランドの生活文化

G16 田中島匠吾・牛塚 曜・榎本隆太・福田絵実子・中屋敷和瑞(立正大・学):上高地の自然景観

G17 荻原駿・川島康司・水村賢人・石川充汰・高本志保・菊池泰広(立正大・学):新島・大島の火山地形

## ○立正地理学会研究委員会の募集(新規)

2014 年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する規程」を熟読の上、規程 5 の内容を明記した趣旨書を、立正地理学会島津常任委員長あて(住所等は最終ページに記載してあります)に郵送で提出してください。7 月 7 日(月)を締切日(必着)といたします。ただし、研究委員は本学会会員に限ります。複数の応募があった場合は調整いたします。

現在、「房総における岩」研究委員会(2013・2014 年度)が、設置されております。

### 立正地理学会研究委員会に関する規程

1. 委員会の設置:立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的:研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 委員会の所轄:研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 募集の説明:副常任委員長は、当該年度の総会時において募集内容・提出期限について説明する。
5. 委員会の設立:委員会の設置を希望する会員は、委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名(5 名以上で組織する)、募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記して、副常任委員長に提出する。
6. 委員会の募集:副常任委員長は、提出された代表者名、研究テーマ、研究期間、募集人員等を学会ニュース、学会ホームページに掲載し、委員を募集する。
7. 委員会の成立:副常任委員長は、会員の応募状況をもとに委員会の成立の可否を検討し、その成果を代表者に伝える。
8. 委員会の発足:成立をみた委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 委員会の年限:委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費は、1 研究会に対して年額 5 万円を上限とする。
11. 会計報告:会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。研究期間内の途中にあつては、当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 委員会の終了:研究委員会の終了時には、終了報告書と領収書を添えた収支報告書を副常任委員長に提出しなければならない。
13. 成果の公表:研究委員会の活動中にあつては、立正地理学会研究発表大会等において、中間報告を行うことが望ましい。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。

(常任委員長 島津 弘)

## ○秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第2報)

第38回立正地理学会秋季例会ならびに第43回講演会(予定)を11月22日(土)に、第111回臨地研究会を11月23日(日)に、立正大学品川キャンパス(2014年度より大崎キャンパスから名称変更しました)にて実施する予定です。詳しい日時・場所・発表申込みに関するご案内は、8月上旬頃、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp>)にてお知らせします。皆様の参加をお待ちしております。

## ☆地理学教室だより☆

立正大学地理学科では新入生とともに今年度から3名の新しい先生をお迎えいたしました。今回の地理学教室だよりでは、新しく着任された大石雅之先生、森田匡俊先生、山田淳一先生からのご挨拶を掲載いたします。

### ○山田淳一先生より挨拶

地理学科専任講師として4月から着任致しました山田淳一です。立正大学地球環境科学部地理学科助教を任期満了により退職した後、立正大学などで非常勤講師として勤務しておりましたが、再び専任教員として戻ってまいりました。2年間離れている間に変化していることが多く、自身の忘れっぽさもあって、しばしば浦島太郎となっています。

専門分野は交通地理学です。主に港湾と地域との関係について研究しています。特に、日本の地方港がコンテナ港として世界的なコンテナ輸送網に組み入れられていく際に、地元の港湾関係企業や行政などがどのように対応したのか、そのプロセスや地域差の要因について研究しています。さらに、最近「公共交通の活性化」にも関心を持ちはじめ、交通地理学の視点から見た秩父鉄道の面白さに気づきました。その魅力を皆様にも伝えていけたらと思っています。

この度、立正地理学会では広報委員となりました。よろしくお願い致します。



### ○大石雅之先生より挨拶

本年の4月に助教として地理学科に着任いたしました、大石雅之です。

学部は日本大学の法学部出身で、卒業後1年間、民間の商社に勤務しました。その後、もともと山の自然科学が好きだったこともあり、東京都立大学大学院の地理学科に入学し、博士の学位をとりました。本学着任前は、つくばの産業技術総合研究所地質調査総合センターで、火山の研究業務を行ってきました。活動中の火山でも野外調査をしました。

専門は自然地理学分野で、具体的には、火山灰(テフラ)編年に基づく地形発達史研究です。おもに八ヶ岳や北関東の諸火山の噴火史・地形発達史研究を行っています。また最近活火山の研究も行っており、



火山噴出物の形態・組織解析など岩石学的特徴に基づく、爆発的噴火のマグマ上昇・噴出プロセスのモデル化に関する研究も行っています。さらには、火山学を一般の人にもわかりやすく再現する、身近な素材を使ったアナログ実験「キッチン火山学」にも関心があります。フィールドワーク大好き人間です。

立正地理学会では集会委員を拝命しております。よろしくお願いいたします。

## ○森田匡俊先生より挨拶

4月に地球環境科学部地理学科に着任した森田匡俊と申します。広島県福山市で生まれ育ち、学部・大学院は名古屋大学出身です。その後、ロンドン大学バークベック校に1年間在籍し、帰国後は、愛知工業大学地域防災研究センターに勤務していました。埼玉県や熊谷市周辺はなじみのない土地ですが、不安よりも期待の方が大きいです。ただし、噂に聞く夏の暑さは非常に警戒しています。



専門は、GISによる空間分析の理論および応用です。空間分析手法を防災に応用した研究に最近では取り組んでおり、研究活動を通じた地域社会への貢献を目標としています。たとえば、大規模災害発生時の帰宅困難者対策、津波避難行動の分析、視覚的・直感的に分かりやすい防災マップ作成が現在の主な研究テーマです。

立正地理学会では、庶務会計委員会に所属しています。研究教育活動と同様に学会活動にも積極的に取り組んでいきます。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

## ○会員の声募集のお知らせ

会員の皆様からの声を募集いたしております。内容としては地理学にとって連報性の必要があるものまたは広く会員へお知らせするものを学会ニュースに掲載したいと思っております。ただし原稿に関する責任は投稿者にあるものとし、については投稿者の連絡先も合わせて掲載することをご了承の上、寄稿下さい。投稿についてはメール、郵送(この場合、CD-RもしくはDVDと印刷物の両方、FD不可)でお願いします。

宛先

〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

立正大学地球環境科学部地理学科内 立正地理学会

e-mail geosoc@ris.ac.jp

## ○会費納入のお願い

2014年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にてご納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入いただきたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認いただき、過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入願います。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000 円 学生会員 2,500 円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。  
(庶務会計委員会)

#### 編集後記

4月から広報委員になりました修士1年の武江翔太です。不慣れな点も多いかと存じますが、よろしくお願い申し上げます。

さて、熊谷キャンパスでは五月晴れの日が続き、一年でもっとも快適な季節になりました。来月の研究発表大会時には、多くの会員の皆様に広報委員よりインタビューをさせていただきたく存じます。その際には、ぜひご協力頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(広報委員・武江 翔太)

#### 立正地理学会ニュース No.111

2014年5月10日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453